

## 5 . 駅前空間の全体構想

### 1) 駅前空間形成の方向性

#### 駅前空間形成の方向性

- ① 快適で安全な歩行者空間
- ② 駅東西が一体となった回遊性の高い空間
- ③ 便利で快適な交通結節空間
- ④ 快適な自転車利用空間
- ⑤ 安全・安心な都市空間
- ⑥ 環境にやさしい都市空間

#### 駅前広場周辺街区

- ・安全・安心な街区形成のための共同化などによる建替え
- ・商業のまちとしてにぎわいを創出する建替え
- ・環境負荷を低減した建替え

#### 西口駅前広場

- ・快適な空間やにぎわいを創出する広場南側のオープンスペースの確保
- ・快適な歩行者動線や回遊性を高める歩道の整備
- ・乗換え利便性向上のための交通施設の再配置
- ・新空港線整備に対応した交通結節空間整備

#### 自由通路・連絡通路

- ・歩行者環境の改善と回遊性を高める駅東西を結ぶ自由通路の整備
- ・新空港線整備を踏まえた鉄道利用連絡通路の整備
- ・駅東西の通行を可能にする自転車用地下東西連絡通路の整備

#### 東口駅前広場

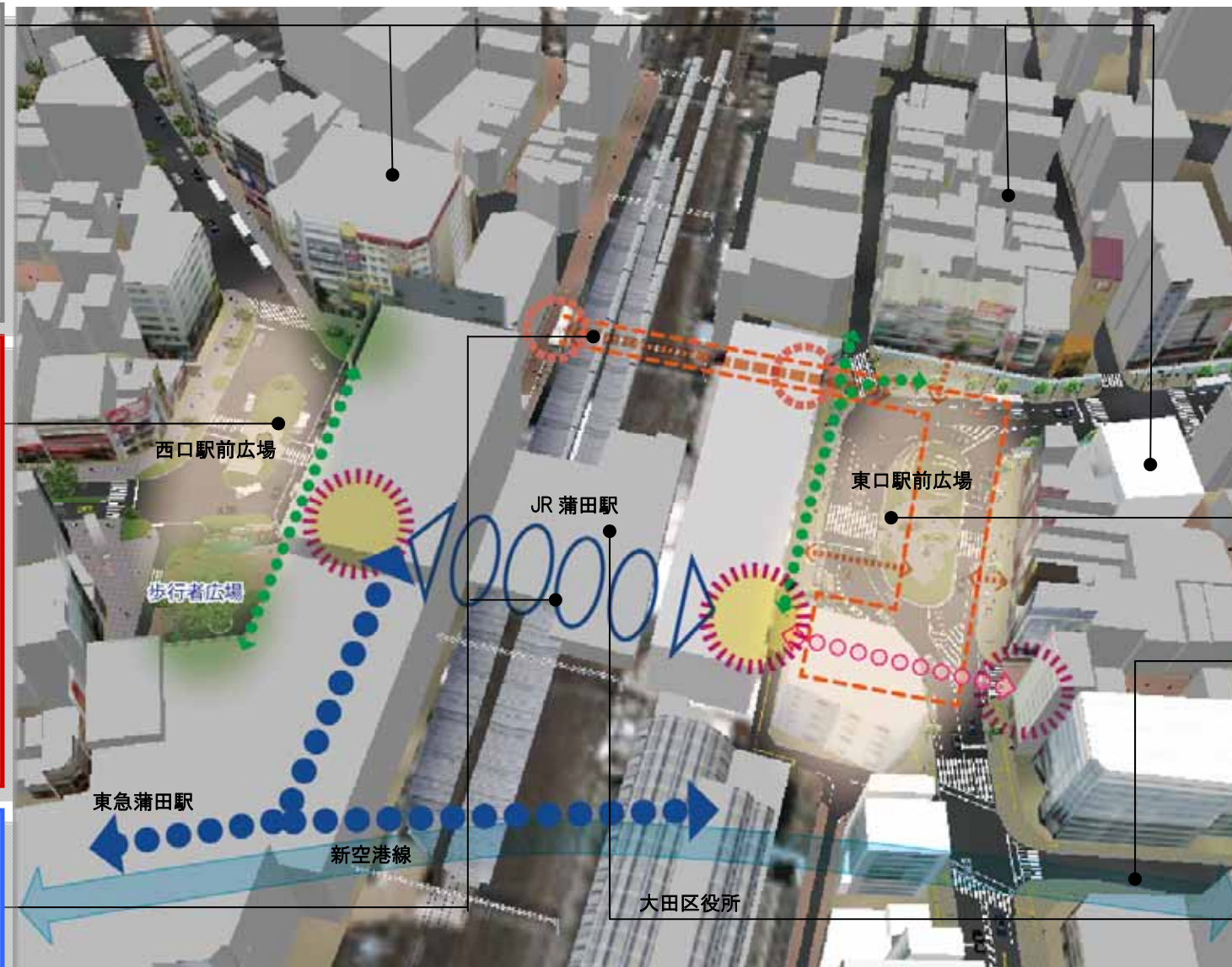
- ・駅前空間整備のための面積拡張
- ・快適な歩行者動線や回遊性を高める歩道の整備
- ・乗換え利便性向上のための交通施設の再配置
- ・新空港線整備に対応した交通結節空間整備
- ・駅周辺環境の改善と快適な自転車利用を目指した地下自転車駐車場の整備

#### 新空港線

- ・交通結節拠点としての新空港線の整備

#### 駅舎・駅ビル

- ・建替え更新に合わせた安全で快適な公共空間の確保



|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 自由通路</li> <li> 鉄道利用連絡通路</li> <li> 駅ビル前面の歩行者動線（地上）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li> 自由通路と駅前周辺街区を結ぶ歩行者動線（デッキレベル）</li> <li> 自転車用地下東西連絡通路（押し歩き）</li> <li> 地下自転車駐車場と駅や周辺街区の連絡動線</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li> 自由通路と駅前広場の結節空間</li> <li> デッキレベルと地上部との結節空間</li> <li> 自転車用地下東西連絡通路と地上部との結節空間</li> <li> 地下自転車駐車場</li> </ul> |
|--|--|--|

イメージ図及び記載内容については今後、関係機関と協議し決定していきます。

図中の自由通路の位置は、現在の JR コンコースの位置付近に仮置きしたものです。東口駅前広場は上空利用を想定し、仮置きした自由通路と直線状に接続するデッキレベルのイメージ例を示したものです。



## 2) 回遊性

「商業のまち 蒲田」のまちづくりでは、にぎわい創出の視点で駅前空間の整備をすることが求められます。

駅前空間全体構想に基づく都市基盤整備のほか、駅周辺の回遊路整備による蒲田駅周辺の回遊性の向上について整理します。

### 駅前空間整備による回遊性の向上

#### 1. 自由通路※1・連絡通路の整備

- ・駅東西を結ぶ自由通路の整備
- ・自転車用地下東西連絡通路の整備
- ・新空港線整備を踏まえた鉄道利用連絡通路の整備

#### 2. 駅と駅周辺を結ぶ駅前広場の整備

- ・歩行者空間の拡充と動線整備
- ・東口駅前広場の上空利用による駅周辺への歩行者動線の確保

#### 3. 東口地下自転車駐車場の整備

- ・路上暫定自転車駐車場解消による回遊路の整備
- ・駅周辺放置自転車解消による歩行者環境の改善

#### 4. 交通施設の再配置

- ・利用しやすい歩行者動線の確保

※1 「自由通路」…連絡通路の中で、駅東西間を結ぶ 24 時間通行可能でバリアフリー化された通路

### 自由通路・連絡通路の整備の考え方

|   |  |   |
|---|--|---|
| <p>1. 駅東西を結ぶまちの中心軸となる自由通路の再整備<br/>→(駅舎・駅ビルの更新時)駅東西を直線で通行できる十分な幅員を有した自由通路</p>        | <p>2. 新空港線整備を踏まえた鉄道利用連絡通路の確保<br/>東急蒲田駅方面と東口を結ぶ連絡通路</p>                               | <p>3. 駅直近での自転車の東西通行を実現する連絡通路の整備<br/>→駅北側地下通路を利用した自転車通行が可能な東西連絡通路</p>                  |
|  |  |  |

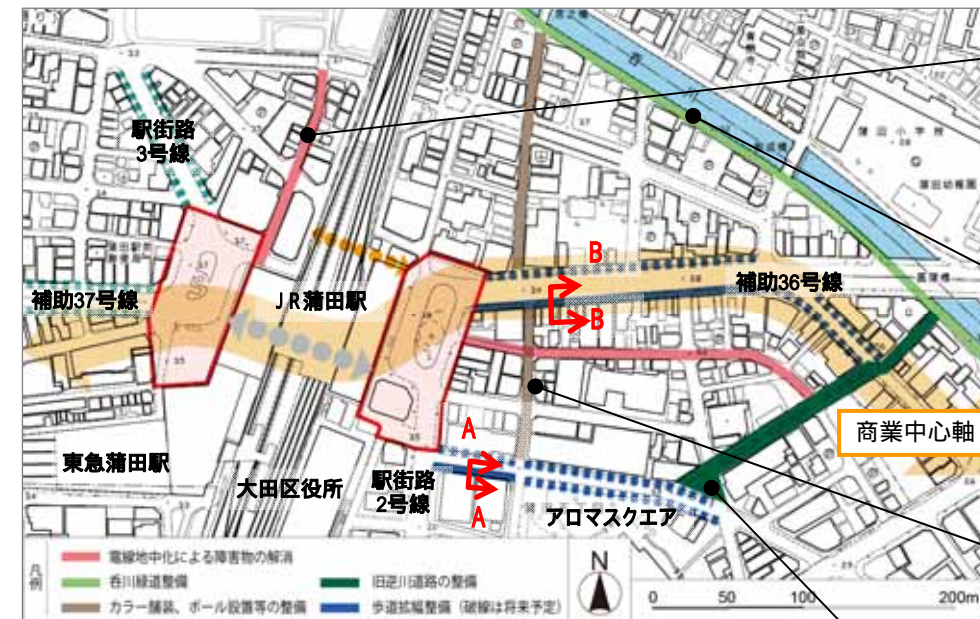
### 回遊路の整備

#### 1. 都市基盤整備を踏まえた駅周辺歩行者動線の整備

- ・バス降車場の駅前広場への配置による歩道拡幅整備を検討
- ・バス乗車場の駅前広場への配置による歩道上のバス利用者滞留スペース解消
- ・周辺歩道も含めた回遊動線の再整備
- ・地下自転車駐車場への暫定自転車駐車場移設による呑川緑道整備

#### 2. 駅周辺道路の整備

- ・旧逆川道路の一方通行化、歩道・ポケットパーク等の整備
- ・カラー舗装、ポール設置などによる歩行者回遊動線整備
- ・電線地中化による地上器の街路灯上部への設置による障害物の解消 (※関係機関、地元関係者協議が必要)



電線地中化による地上器の街路灯設置による障害物の解消



(日本橋むろまち小路)

暫定駐車場移設による呑川緑道整備



呑川緑道整備イメージ (出典:蒲田駅周辺地区グランドデザイン)

カラー舗装、ポール設置などによる歩行者回遊動線整備

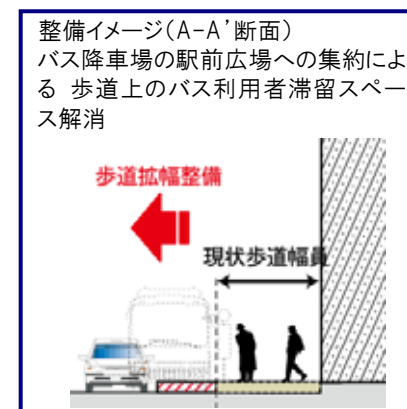


カラー舗装、ポール設置整備イメージ

旧逆川道路の一方通行可、歩道・ポケットパーク等の整備



旧逆川道路の整備イメージ





### 3) 環境配慮と緑化整備

#### 環境配慮

大田区が目指す環境像(大田区環境基本計画)(H23 年度)  
環境と生活、産業の好循環を礎とした持続可能で快適な都市

##### 低炭素社会実現の必要性

- ・地球温暖化の抑制
- ・東日本大震災以降のエネルギー問題 など
- ・地球温暖化対策の促進に関する法律、都市の低炭素化の促進に関する法律の制定など

##### 蒲田駅周辺の課題

- ・老朽化した駅前広場周辺街区などの建物
- ・躯体が老朽化した駅ビル
- ・公共交通の乗換えの不便
- ・駅周辺の自動車交通の錯綜・滞留 など

#### 蒲田駅周辺再編プロジェクトにおける低炭素都市実現に向けた基本方向

##### 1. 環境にやさしい交通手段の利用促進

- ・駅前広場機能の改善による公共交通の利用促進
- ・自転車駐車場の整備や歩行者の安全に配慮した自転車の走行環境の改善

##### 2. 環境負荷低減を図った建替えなど都市機能の更新

- ・老朽化建物の機能更新
- ・未利用・再生可能エネルギーの利用促進、効率的エネルギーの利用
- ・緑化等によるヒートアイランド現象の緩和
- ・駅前広場の再整備など都市基盤整備における環境負荷低減

##### 3. まちの回遊性を高める、環境にやさしい水と緑のネットワークの形成

- ・呑川の親水空間整備による風の道の形成や旧逆川の整備による水と緑のネットワーク形成

#### 蒲田駅周辺再編プロジェクトで考えられる環境負荷低減のための施策

##### 交通

1. 公共交通利用の促進
  - ・駅前広場の整備
  - ・新空港線の整備
2. 自動車から環境にやさしい自転車利用への転換
  - ・自転車駐車場の確保
  - ・自転車走行環境の改善
3. 円滑な自動車交通の確保
  - ・自動車と歩行者の交錯の解消
  - ・駅前広場に流入する自動車通過動線の分離

##### エネルギー

1. 建物の省エネルギー化
  - ・建替え時等に高断熱化、高効率設備機器を導入
  - ・太陽光発電など未利用・再生可能エネルギー利用機器の導入
2. 基盤施設の省エネルギー化
  - ・駅前広場、道路整備にLED 照明、太陽光発電などの導入
3. 街区・地区レベルでの効率的なエネルギー利用の推進
  - ・共同化等の際に建物間熱融通の導入

##### みどり

1. 水と緑のネットワーク
  - ・公共空間の緑化、公共施設の屋上緑化・壁面緑化の推進
  - ・建物整備に合わせた屋上緑化・壁面緑化の推進
  - ・暫定自転車駐車場の解消による呑川緑道における親水空間の創出
  - ・道路表層整備によるクールスポットの形成・ヒートアイランド対策

#### 緑化整備

大田区緑の基本計画 (H22 年度)

世界に開かれた、賑わいと活力の中に  
潤いを感じるみどりのまち

大田区環境基本計画 (H23 年度)

環境と生活、産業の好循環を礎とした  
持続可能で快適な都市

#### 緑化の基本方向

##### 1. 水と緑の散策路づくり

- ・暫定自転車駐車場の解消による呑川緑道の整備
- ・旧逆川道路の整備によるゆとりある歩行者空間の形成

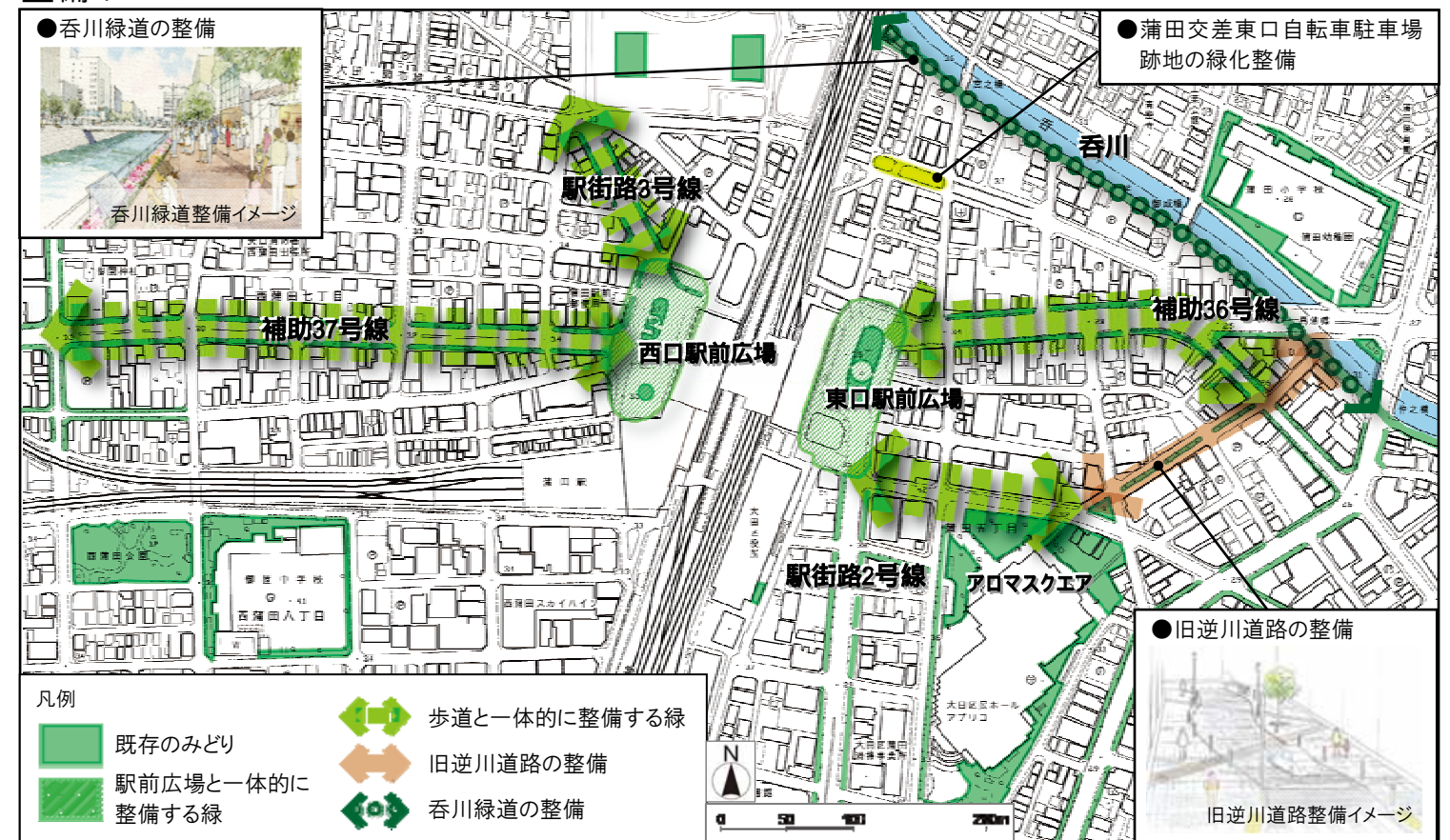
##### 2. 緑のやすらぎ空間づくり

- ・駅前広場のにぎわいや人の流れに配慮した潤いやゆとりを感じる植栽配置

##### 3. ヒートアイランド現象の緩和など環境にやさしいまちづくり

- ・駅ビルや駅周辺街区の建替えに合わせた建物の屋上や壁面などの緑化の推進

#### 整備イメージ





## 6 . 駅前空間整備の進め方

「5.駅前空間の全体構想」を実現するためには、整備条件や施設相互の関係などを考慮しながら、整備を順次進めていく必要があります。ここでは駅前空間の整備の進め方について整理します。

### 1) 基本的考え方

駅前広場を中心とする都市基盤整備は、新空港線の事業実施や駅舎・駅ビルや駅前周辺街区の更新などとの連携が必要な整備もあり、蒲田駅周辺再編プロジェクト策定から5年以内を目途に着手をめざす「初動期整備」と、初動期整備に引き続き条件が整ったものから順次着手する「中・長期整備」に整理します。

#### 駅前空間整備の進め方

##### 初動期（～5年程度）

駅前空間再編の端緒となる公共空間を中心とした整備  
蒲田駅周辺再編プロジェクト策定から5年以内を目途に着手

##### 初動期整備計画

初動期で整備を行う都市基盤について、「7. 初動期整備計画」でまとめます。

(初動期整備の概要)

- 東口駅前広場拡張による暫定整備
- 東口駅前広場地下自転車駐車場整備
- 西口駅前広場の再整備(南側のフラット化など)

##### 中・長期（～10・20年程度）

新空港線の事業実施や駅ビル・駅前周辺街区の建替えなどと連携した検討・整備

初動期整備に引き続き、実現化条件が整ったものから順次着手

##### 中・長期整備指針

将来の都市基盤整備のほか、その整備を進めていくうえで前提となる新空港線や駅舎・駅ビル、周辺街区も含めて、整備内容と整備条件・課題を「8. 中・長期整備指針」でまとめます。

(中・長期整備の概要)

- 駅前周辺街区と連携した駅前広場の拡張
- 新空港線整備を踏まえた駅前広場機能の拡充
- 駅舎・駅ビルの機能更新などに合わせた自由通路の整備

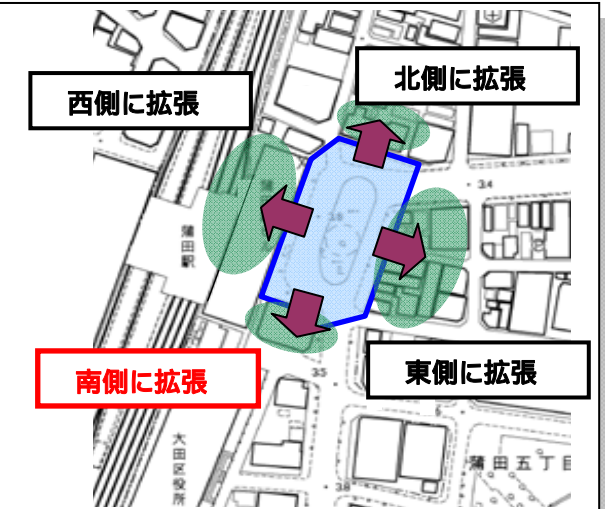
### 2) 駅前広場面積拡張の考え方

歩行者環境の改善や交通施設の集約など交通結節機能の強化を図るためには、広場面積の拡張が必要であることから、拡張の考え方を示します。

#### 東口駅前広場面積の拡張

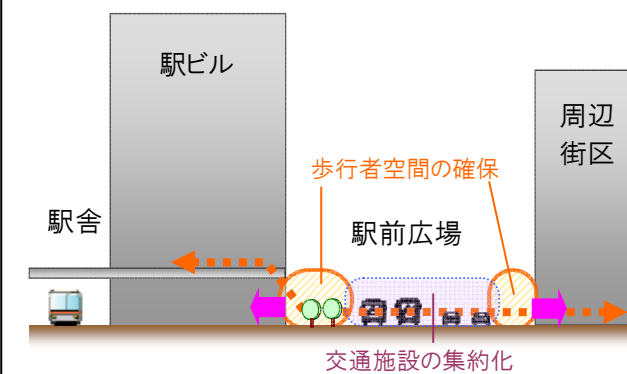
##### パターン1: 民間用地の取得

- ・初動期は、南側の歩行者交通量への対応、駅前広場の南北広がりバランス、新空港線への対応等を考慮し、南側(右図③)に拡張
- ・新空港線の整備に影響する民間用地の取得



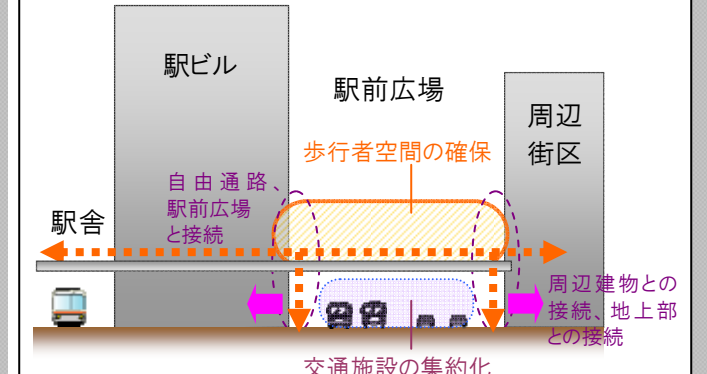
##### パターン2: 地上部の拡張

- ・駅ビル、駅前広場周辺街区と今後の協議により、建替ルール(低層部セットバック等)により歩行者空間を確保



##### パターン3: 上空利用による拡張

- ・ペDESTリアンデッキ等での上空利用による拡張



#### 西口駅前広場面積の拡張

- ・駅ビル、駅前広場周辺街区と今後の協議により、建替ルール(低層部セットバック等)により歩行者空間を確保

### 3)東西駅前空間整備の進め方

「1)基本的考え方」で示した都市基盤の段階的整備を踏まえて、東西駅前広場における初動期、中・長期の整備の概要について整理します。

#### 東口駅前広場

##### 【将来目標】

1. 歩行者環境改善による駅利用者の快適な利用と駅周辺への回遊性の創出
2. 交通機能の集約・再配置による公共交通利便性の向上
3. 自転車駐車場整備による自転車利用環境の向上と暫定自転車駐車場跡地の活用

#### 初動期整備

##### 【初動期整備の目標】 歩行者環境の改善を重視した整備

###### 駅前広場南側用地の取得を前提とする整備

###### 【整備概要】

用地取得による拡張部を含めた初動期における地上部での駅前広場の整備を検討

###### 1. 歩道拡幅等による歩行者空間の確保

- ・歩行者集中による交錯が発生している歩道を拡幅するとともに、回遊の主動線となるぼがらード・中央通り・アロマスクエア方向の歩行者空間を改善し、サービス水準・A 水準を確保する

###### 2. 交通施設の配置変更

- ・補助 36 号線のバス乗車・降車場の駅前広場への集約に向け、広場の拡張に合わせて、まず、降車場を駅前広場内に配置する(自転車走行空間を考慮)  
※乗車場を集約する場合は、その一部が補助 36 号線に残る
- ・バス乗車・降車場箇所数を調整し、コンパクト化を図る
- ・交通島をタクシー待機場として活用する

###### 3. 一般車両の動線変更

- ・駅前広場内に進入していた一般車動線を分離し、バス・タクシーとの交錯を解消する

#### 中長期整備

##### 【中・長期整備の目標】 初動期整備に続く交通施設の集約化

###### 駅前広场上空利用などによる更なる駅前広場面積拡張を前提 新空港線整備に影響する用地の取得

###### 【整備概要】

更なる面積拡張と周辺施設更新の状況を踏まえ、整備条件が整ったところから順次整備

###### 1. 駅前広場の面積拡張

- ・駅ビル・周辺街区と今後の協議により、建替えルール(低層部セットバック等)により歩行者空間を確保する
- ・交通機能を駅前広場に集約するため、地上の歩行者空間の一部をペDESTリアンデッキなどにより確保し、交通島の横断歩道を解消し交通施設を再配置する

###### 2. 交通施設の駅前広場への集約

- ・補助 36 号線のバス乗車場を駅前広場に配置する。(自転車走行空間を考慮)
- ・交通島をバス乗車・降車場、タクシー待機場として活用する

###### 3. 自由通路と駅前広場・周辺街区の結節

- ・駅舎・駅ビル更新に合わせて新たに設置する自由通路とペDESTリアンデッキを接続し、駅前広場地上部や周辺街区へ繋ぐことで、バス利用の利便性や駅周辺への回遊性の向上を図る

###### 4. 新空港線整備を踏まえた駅前広場機能の拡充

- ・整備に影響する用地取得及び、交通施設を再配置する

#### 西口駅前空間

##### 【将来目標】

1. オープンスペース確保による歩行者環境の改善と商店街との一体的なにぎわいの創出
2. 新空港線事業化を踏まえた交通機能の再配置による公共交通利便性の向上

#### 初動期整備

##### 【初動期整備の目標】 歩行者環境の改善を重視した整備

###### 【整備概要】

既存駅前広場の形状を活かしつつ、歩行者環境やにぎわい創出空間整備を検討

###### 1. 歩行者動線整備による歩行者環境の改善

- ・駅前広場南側スペースを活かした駅前空間をつくるため、歩行者動線の改善を図るとともに駅と商店街を繋ぐオープンスペースを強調したにぎわい創出の拠点となる整備を行う
- ・駅前広場北側の歩行者動線を整備し、快適な歩行者環境を確保する

#### 中長期整備

##### 【中・長期整備の目標】 交通結節機能の強化

###### 駅ビル、周辺街区建替えに合わせた地上空間確保も含めた整備

###### 【整備概要】

初動期整備による駅前広場の利用状況や新空港線事業化、周辺施設の更新の状況を踏まえた整備

###### 1. 交通施設の再配置の検討

- ・分散配置されているバス乗車・降車場の駅前広場への集約やタクシー待機場の設置について、交通島も含めて再配置を検討した上で整備する

###### 2. 自由通路と駅前広場の結節

- ・駅周辺への回遊性向上につながる、駅舎・駅ビル更新に合わせて新たに設置する自由通路から駅前広場への動線を整備する

###### 3. 新空港線新駅への出入口などの調整

- ・新駅への出入口や連絡通路などについて調整する

###### 4. 歩道拡幅等による歩行者空間の確保

- ・補助 37 号線のバス乗車場付近の歩道を拡幅し、ゆとりある歩道空間を確保する  
※中央分離帯撤去、バス乗車場の再配置の考え方により整備時期変更の可能性あり

#### 東口駅前広場地下自転車駐車場

- 【整備目標】
1. 緑道整備や歩行者環境の改善を図るため暫定自転車駐車場を解消する
  2. 駅周辺の放置自転車を解消するため利用しやすい自転車駐車場を整備する
  3. 歩行者・自転車の安全を確保するための自転車走行空間を整備する

【整備概要】 東口駅前広場の初動期整備に合わせ地下空間を活用した整備の検討

##### 1. 初動期整備

- ・地下空間に自走式平置きと機械式を併用し、利用区分と需要に対応した設置を行う
- ・利用者の走行動線を考慮した位置に出入口を設置する
- ・北側地下通路を活用し、自転車通行(押し歩き)が可能な東西連絡通路を確保する

##### 2. 中・長期整備

- ・駅ビルや周辺建物の更新に合わせた連絡通路や初動期で対応できなかった整備課題を検討する